保護者　様

保存版

令和８年４月２７日

倉敷市立粒江小学校
校長　中　桐　陽　子

地震発生時の対応について（お知らせとお願い）

晩春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、地震発生時に本校では次のように児童の安全を確保しますので、ご協力をよろしくお願いします。

記

１　児童が学校にいて地震が発生した場合

（１）「震度５弱以上のとき」

保護者が引き取りに来られるまで、学校で待機させます。たとえ、時間がかかっても保護者が迎えに来られるまでは、学校でお預かりします。

※津波の状況によっては、迎えよりもまず、自分の身の安全を最優先してください。

（２）「震度４以下のとき」

校内及び通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、引き渡しをしたり、いつもより早めに教職員付き添いで下校したりする場合があります。「保護者連絡帳」を確認してください。

２　児童が登校前（在宅中）に地震が発生した場合

（１）「震度５弱以上のとき」

原則として自宅待機とします。（学校からの安否確認があります）余震や災害情報に注意し、家族の安全確保を最優先してください。

（２）「震度４以下のとき」

自宅周辺及び通学路の安全を確認したのち、原則として登校します。

３　児童が登下校中に地震が発生した場合

（１）　「震度５弱以上のとき」（児童が経験したことのない大きな揺れを感じたとき）

① 安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確認します。
② 自宅、学校の近い方へ避難します。（自宅に人がいない場合は、近隣で大人がいるところへ【学校を含む】避難します。）
③ 自宅に戻った児童は、自宅待機とします。（学校からの安否確認があります）
④ 登校した児童、学校に戻った児童は、保護者が引き取りに来るまで、学校で待機させます。たとえ時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校でお預かりします。

（２）「震度４以下のとき」

安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確保し、登下校をします。

◎揺れを感じたら、ブロック塀や高い建物、川岸からすぐ離れる。ランドセルや手提げ袋等で頭部を守る。
建物の中にいる場合は、部屋の中央で身をかがめ、机等の下に避難する。

※自宅周辺が危険な状況にある場合は、上記の限りではありません。保護者の方は、安全確保を最優先し、適宜、安全第一に避難する、登校を遅らせる等の判断をしてください。

※災害発生時には、緊急連絡用回線の確保が必要なため、電話でのお問い合わせはお控えください。

<u>学校からの連絡は、「保護者連絡帳」からの発信を原則</u>といたします。

粒江小学校対応マニュアル

大地震が起きた時の学校・家庭の対応

大きな地震（震度5弱以上）が起こったら、粒江小学校では次のように対応します。

大地震発生　停電して信号が止まる
立っていられないなど
大きなゆれの地震（震度 5 弱以上）

児童が学校にいるときの対応

➡ 児童は引き渡しになります。

学校・児童

① 揺れが収まるまで安全を確保する。

② 児童は教師の指示で校庭に避難する。

③ 引き渡しの「保護者連絡帳」を発信する。

④ 児童の**引き渡しをする。**

状況を見て、校庭や校舎内になる場合もある。

※迎えが来るまでは、学校で保護する。

児童が登下校中の場合の対応

児童

① 揺れが収まるまで、その場で安全確保をする。

② 揺れが収まったら、登校班で**学校か家の近い方へ移動する。**

○自宅に戻った児童は、自宅待機とします。
○登校した児童は、ひき渡しになります。

学校

① 揺れが収まるまで安全を確保する。

② 在校児童を校庭に避難させ、在校児童、登下校中の児童の安否確認をする。

③ 「保護者連絡帳」を発信する。

④ 在校児童の引き渡しをする。

⑤ 教職員は児童の安否確認をし、地区パトロールをする。

児童が登校前（在宅中）の対応

➡ 児童は自宅待機になります。

学校

① 「保護者連絡帳」で自宅待機メールと安否確認メールを発信する。

② 情報収集と学校再開に向けて、関係諸機関との調整をする。

家庭の対応

「保護者連絡帳」、TV、ラジオ等で状況把握
もしメールが発信されなくても

⇩

1．児童が学校にいて地震が発生した場合

○学校へ児童を迎えに行く。
※児童の安全確保のため、自動車での来校は極力お控えください。

○学校は、保護者が迎えに来るまで、児童を学校に待機させます。

2　児童が登校前に地震が発生した場合

○自宅待機

○学校からの安否確認メール等が届いたら、返信をお願いします。

○保護者連絡帳、TV、ラジオ等で状況把握をする。

○学校再開の連絡を待つ。

3　児童が登下校中に地震が発生した場合

○通学路の安全確認をしながら徒歩で児童を（探しながら）迎えに来る。

○児童と会えたら、自宅で待機等、身の安全を確保する。会えない場合は、学校まで行く。
※学校から、**安否確認があります。**

○学校は、児童が学校まで来ていたら、引き渡しをします。

学校からの連絡は、「保護者連絡帳」からの発信を原則といたします。